

令和6年度（2024年度）
地域障害児支援体制充実のための
ICT化推進事業 報告

概要

- こどもサポートほっぷでは、令和6年度（2024年度）地域障害児支援体制充実のためのICT化推進事業を活用し、タブレット端末やPCを職員の人数分購入しました。加えて、記録業務、情報共有業務、請求業務までを一気通貫で行うことが可能なシステムを導入しました。
- その導入製品と、導入効果についてご報告させていただきます。

導入製品 内容

- タブレット端末（NEC LAVIE） 8台
 - PC端末（サーフェス プロ） 1台
 - 成長型療育支援システム HUG
-
- タブレット端末は事業所内で活用することを主とし、出勤している職員の人数分用意することで、支援記録を入力するために端末が空くのを待つ時間を作らないように、比較的安価で複数台購入できる機種を選択しました。
 - PC端末については、動作が重たなく、スムーズに稼働でき、情報共有業務や請求業務の際に管理者が持ち運びしやすく、キーボードも扱える機種を選択しました

タブレット端末 (LAVIE Tab T11)

- 2023年春モデル LAVIE Tab T11 プレミアムタブレット 11.2型ワイド・11.5型ワイド T1195/FAS T1175/FAS | NEC LAVIE公式サイト



PC端末 (surface pro 11世代)

- [新しいCopilot+ PC、Surface Pro \(第 11 世代\) の登場 | Microsoft Surface](#)



成長型療育支援システムHUG

- [HUG \(ハグ\) 放課後等デイサービス専用ソフト/児童発達支援向け施設運営システム](#)
- 支援記録～情報共有～請求業務までを一気通貫で行える
- 保護者様のスマートフォンにアプリをインストールしていただくことで、連絡帳のようなやり取りや、LINEアプリのようなやり取りも可能となっており、順次導入していく予定



児童発達支援・放課後等デイサービス・
保育所等訪問支援向け施設運営システム

それぞれの
窓口から
お気軽にどうぞ

☎ 052-990-0322 受付時間：9:00～18:00(土日休み)
資料請求 オンライン相談

HUGが
選ばれる理由

機能一覧

導入事例

導入エリア

利用料金

サポート体制

セミナー

特許
取得

令和6年4月 報酬改定対応

放課後等デイサービス運営会社が開発したソフトウェア
療育に特化した業界唯一の施設運営システム

初期導入費 0円
+ (税込)
月額 33,000円～

全国導入施設数
8,000以上

継続利用率
99%

成長療育型サービスの提供が重要になる中、「HUG」はその業務のサポートに特化した業界唯一のシステムです。本当に価値ある成長療育型サービスの提供には、請求ソフトにはない専用のソフトの活用が極めて有効になります。たとえば、HUGの児童成長管理機能を活用すれば、児童の様々な情報から気を付けてほしいこと、好きなこと、症状・アレルギーなどの療育に役立つ情報を一目で確認できます。

導入効果について ①

- タブレット端末、PCを導入したことで職員が支援記録を入力する際に待つ時間が無くなった
- 個別支援計画書や過去の支援記録等について、どの職員も自分のタイミングでいつでも読み返したり、確認することが可能になった
- これまで、表計算ソフトなどに書き起こしていた、業務日誌にはこどもそれぞれの出席、欠席等を記録していたが、HUGに記録することができるようになったため、別に日誌を準備する必要がなくなった

導入効果について ②

- 法人本部～こどもサポートほっぷ間で、実績記録などのデータをクラウド上で共有できているため、転記自体の必要がなくなったため、転記時の入力ミスや入力漏れなどのヒューマンエラーを心配する必要がなくなった。
同様に、請求書、領収書も、直接事業所から発行することが可能になったため、事務作業に係る手間が少なくなった

まとめ

- 導入にあたり、職員の人数分のデバイスが必要となり、初期費用はどうしてもかかってくる面があるが、支援記録を入力するために係る時間外手当を考えると効率が良くなっている
- さらに、ヒューマンエラー等を考慮しても、転記が不要になったことや業務日誌の作成に係る手間が軽減した効果は大きく、個人ごとに見れば業務負担は軽減できたと考えられる。